

女性が活躍する社会の実現に向けて

～女性活躍の観点から組織を考える～

問 市 人権政策課(米原庁舎) ☎52-6629 FAX 52-4539

現在、少子高齢化が進み、人口減少社会に突入しています。男女共同参画社会の実現は、社会の多様性と活力を高め、経済が力強く発展していく観点などから、社会全体で取り組むべき重要な課題となっています。

そうした中、昨年8月28日に女性活躍推進法(女性の職業生活における活躍の推進に関する法律)が成立しました。この法律は10年の時限立法で、民間企業等は女性活躍推進のための行動計画の策定や女性の職業選択に関する情報の定期的な公表が義務づけられています。(従業員300人以下の企業は努力義務)

市では女性の活躍を推進するため、11月20日に息郷地域総合センター三吉会館で「米原市地域女性活躍推進フォーラム」を開催し、転職エージェントとして活躍しておられる森本 千賀子さんによる講演会とパネルディスカッションを行いましたので、その内容の一部をご紹介します。

講演会 組織の次なる成長戦略「女性活用」を考える ～ハッピーキャリアを実現させるマネジメント術～

女性の再就職が 経済効果に波及する

2060年には、労働人口が今の3分の2になると言われている中で、女性が活躍できる環境を整備していくことは、労働力確保の観点からも重要です。また女性活躍は企業イメージを高めることになり、ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業は業績が良くなり、結婚・出産で途中退職した主婦が再就職すると直接効果3兆円、経済波及効果6・4兆円というデータもあります。女性にとつて居心地の良い企業は男性にも居心地が良く、全体的な社員レベルの向上につながります。また、商品やサービスの開発に女性の感性を生かせます。

女性はリーダーに向いている

まずは、企業の本気度が重要です。働き方の多様なモデルをつくり、マネジメントへ女性の登用を行うことが



もりもと ちかこ
森本 千賀子さん

株式会社リクルートエグゼクティブエージェント エグゼクティブコンサルタント。高島市出身。リクルーティングアドバイザーとして、大手からベンチャーまで幅広い企業に対する人材戦略コンサルティング、採用サポート全般を手がけ、人材コーディネーターに携わる。

大切です。今のリーダーは「ついて来い」というよりもサポート役が求められる、きめ細やかで安心して頼れる資質が必要とされています。その点で、女性はリーダーに向いていると言えます。また、女性の意識改革はもちろんのこと、男性の意識改革も必要です。男性の意識改革を行っている企業は、女性の離職率が低くなっています。

女性の特徴を知る

女性が活躍しやすい組織づくりを進めるために、大切なことが2つあります。一つ目は女性の特徴を知ることです。女性は自分を過小評価しやすく、経験したことがないことは遠慮するところがあります。そこを後押しすることで、一歩が踏み出せます。二つ目は、女性が持つ強みを理解することです。まじめで勤勉かつ繊細で、困っている人を助けたいという女性の強みを理解し、対応することが重要です。

登録ください！ なでしこネット

市では、さまざまな分野で多様な意見を市政に反映させるため、なでしこネットを設置しています。

なでしこネット(米原市女性人材バンク)に登録することで、女性が参画しやすくなり、登録者の活躍の場を広げます。

あなたの「経験」「知識」「やる気」を市政や地域社会の発展に生かしませんか？

～なでしこネット活用の流れ～

登録できる人

市内に在住または市内の事業所に勤務する18歳以上の女性で次のいずれかに該当する人
・市のまちづくりや男女共同参画の推進に関心のある人
・もっと女性の意見をまちづくりに生かしたいと思う人



② 情報提供

① 登録申込

なでしこネット

各分野で活動する女性の情報を登録、提供し、市の審議会・委員等への女性の登用を促進します。

⑥ 委員等として参加

③ 問い合わせ

④ 紹介

審議会等の担当課

審議会・委員等の委員の選任に関する事務を行います。

パネルディスカッション「女性活躍について」

東京未来大学教授 石坂 督規さんをコーディネーター、パネリストに森本 千賀子さん、新村 真紀子さん、竹中 美環さんを迎え、パネルディスカッションを行いました。

コーディネーター



いしざか 督規さん

東京未来大学教授。広島大学大学院修了後、三重大学文学部講師、准教授を経て現職。専攻は社会学・地域社会学。男女共同参画や若者の自立支援に向けた取組を支援するほか、多くの自治体や地域のまちづくり、地域再生に携わる。

パネリスト



株式会社リクルート
エグゼクティブ
エージェント

もりもと ちかこ
森本 千賀子さん



株式会社滋賀銀行
人事部

しんむら まきこ
新村 真紀子さん



東横INN
岐阜羽島駅新幹線南口
支配人

たけなか みほ
竹中 美環さん

職場における女性の活躍



会社や自治体などは女性が活躍できるシステムになっているのでしょうか。新村さん、竹中さんの職場ではいかがですか。



滋賀銀行では早くから女性活躍に取り組んでいます。平成16年には厚生労働省から表彰を受け、平成18年には女性の意見を経営に反映させるため「女性活躍推進委員会」を設置しました。委員会では、社内のさまざまな意見を吸収して経営層に提言を行います。銀行は早期退職のイメージがありますが、育児支援制度の充実や再雇用制度等、制度面を充実させ、これまで育成してきた人材を結婚や出産で失わないように努めています。また、育児休暇中に、上司がコミュニケーションをとり、安心して復帰できるような体制を整えています。



管理職に登用しようとする拒否する女性がありますが、なぜでしょう。



目の前の上司を見て「大変そう」と思うからだと思います。上下の意識ではなく「役割の違い」と考えることが大切です。マネジメントする役割とプレーヤーとしての役割の違いです。そうすると女性活用が広がります。また、プレーヤーとしての道を究め、そこに女性らしさを発揮することも一つです。



私は米原駅と岐阜羽島駅のホテルの支配人を兼務しています。東横INNは女性の力で発展したホテルです。社長は女性、社員の85パーセントが女性、支配人の97パーセントが女性というまさに女性が多く活躍している会社です。私は別の会社で働いていたこともあり、5年間、専業主婦の経験もあります。東横INNの経営方針を読んで、女性メインの職場であることを知り、支配人採用に応募しました。入社した時から支配人として私がすべてのマネジメントをこなしてきました。

ワーク・ライフ・バランス



3人とも子育てをしながらキャリアを積み重ねて来られましたが、子育てを振り返っていかがですか。



夫婦のどちらか一方に負担がかかっていることはないです。互いに話し合い、協力し合っています。



専業主婦をしていたときと今では、家事や育児に対する夫の意識が違います。夫の理解が一番の糧になっています。今は近くに両親が住んでいるので、自分のできる範囲でできることをし、両親に頼むところは頼んだりしてアウトソースしています。



多くの女性は「仕事をするなら家事もしっかりする」ということをパートナーから求められているため、家事代行サービスやベビーシッターなどへアウトソースしにくい状態にあります。自分がやらなければならないところは自分でやる。それ以外は思い切って外部に委託をして、力を抜くことも大切です。



今までは女性だから、男性だからといったような先入観や固定観念に捉われがちでしたが、女性が活躍するためには人も組織も変わることが大切ですね。そうすれば「あなりたい」というモデルが増え、女性が活躍し、輝ける社会につながります。

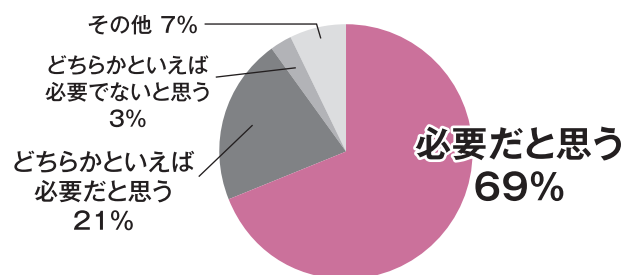
自治会における女性の参画を拡大しましょう！

市では、第2次男女共同参画推進計画の見直しを行うため、女性の参画についてのアンケート調査を市内全自治会を対象に昨年12月に実施しました。

自治会の役員など地域の意思決定の場へ積極的に女性が参加することについて「必要だと思う・どちらかといえば必要だと思う」と回答した人が、全体の9割を占める結果となりました。しかし、107自治会中、女性の自治会長・副自治会長がいる自治会は3自治会で、理想と現実が大きくかけ離れています。

固定的な性別役割分担意識を取り払い、一人ひとりの意識を変えて「誰もが住みよい魅力・活力ある地域づくり」を目指し、地域における男女共同参画の推進を図りましょう。

Q 自治会の役員など地域の意思決定の場へ女性が参加することについてどう思いますか。



回答:107自治会中81自治会

滋賀県内(13市)における自治会役員の女性登用状況

※自治会役員:会長・副会長(平成27年4月1日現在)

	市名	自治会数	うち女性代表等自治会数	女性比率
1	大津市	722	182	25.2%
2	草津市	216	52	24.1%
9	米原市	107	3	2.8%
	市計	3093	342	11.1%

(滋賀県商工観光労働部女性活躍推進課「男女共同参画推進状況」抜粋)

男女共同参画の視点での効果！

- ①女性の立場から広く意見が聴け、それを生かすことで地域の活性化が期待できます。
- ②子育てや介護を通し、日頃から地域と密接に関わっていて、生活者としての知識も豊富。防災・減災、高齢者支援、児童生徒の見守りなど男性とともに尽力できます。
- ③男性とは違った視点を生かし、子どもや高齢者への気配りなどが期待できます。

地域活性のために

男女ともに助け合い

育児・介護の経験を生かして

防災・減災に女性の視点を

地域力アップ

自治会が自主的に役員組織を再構築し、女性の役員を継続登用することで、地域における男女共同参画の推進が図れます。

平成28年度「男女共同参画週間」のキャッチフレーズ募集！

テーマ：旧来の労働慣行や意識を変え、女性も男性も多様な暮らしや働き方が可能な社会を作るためのキャッチフレーズ

平成27年度キャッチフレーズ
地域力×女性力=無限大の未来

- 応募資格 どなたでも応募できます。※応募作品は未発表の自作のものに限ります。
- 応募期限 2月29日(月)まで
- 応募方法 男女共同参画局サイトのキャッチフレーズ募集ページ(<http://www.gender.go.jp/public/week/week.html>)から、応募フォームに必要事項を入力し、応募してください。1人何作品でも応募できますが、応募1回につき1作品とします。

問 内閣府男女共同参画局総務課「キャッチフレーズ募集係」 ☎03-5253-2111